



令和6年3月7日(木)発行
校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

- 相手の立場に立って考える思いやりのある子ども
- すすんで学び、自ら考え、表現する子ども
- 元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

- 安全な学校 ○温かい学校
- 笑顔があふれる学校
- 「中島小大好き」と言える学校
- 成長(学習)し続ける学校
- 保護者・地域・関係機関と連携する学校

今年度最後の学習参観及び学級懇談会

2月14日(水)5校時、今年度最後の学習参観を行いました。

1年間の成長を保護者の方々に観ていただくため、どの学級も様々な工夫を凝らして授業を行いました。いかがだったでしょうか。参観後は、学級懇談会を行いました。年度末のお忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。

	学 習 内 容
1年1組	「できるようになったこと発表会」 *各々 国語・算数から1つと他教科から1つの発表
2年1組	「楽しかったよ、2年生」 *2年生でできるようになったこと、友達と頑張ったことをスピーチ
3年1組	「つたわる言葉で表そう」 *1年間の中で一番伝えたいこと・リコーダー「パフ」「エーデルワイス」
4年1組	「あこがれの人について紹介しよう」 *憧れの人について、「その人のどんなところに憧れるのか」「自分はこれからどのように頑張っていきたいか」をスピーチ
5年1組	「5年生ベスト！」 *1年間の中で思い出に残ったことを、グループで発表
6年1組	「はばたきの会」～できるようになったことと感謝の気持ちを伝えよう～ *できるようになったことの発表
ふじ組	「〇年生がんばったよ思い出発表会」 *1年間頑張ったことや思い出についての発表
すずかけ組	「今年がんばったこと、次の学年でがんばりたいこと」 *1年間頑張ったことや、進級して頑張りたいことについての発表

昔の道具と人びとの暮らし(3年生)

3年生の社会科の学習では、今使われている道具が昔はどんな形や使い方をしたのかを学んでいます。その中で2月20日(火)の1・2校時、七輪について実際に体験しました。今回、保護者の方や地域の方々が9名もお手伝いに来てくださり、各グループに1名見守りについていただいて、楽しく安全に実施することができました。はじめはなかなか火が付かず、大苦戦。みんなで交代しながら一生懸命うちわであおぎ、無事、全ての七輪の炭に火をつけることができました。「昔の人たちの大変さが分かった」「今と比べて時間と手間がかかる」など、昔の人々の暮らしを実体験できました。

本単元は、3年生で扱う歴史的な内容です。したがって、子どもが事実を的確につかみ、調べることができるように、見学や聞き取り調査、体験活動など具体的な学習展開が必要となります。そこで、古くから残る暮らしにかかわる道具を調べることで、より具体的に社会的事象をとらえることができると考えます。

昔の道具を実際に使う体験学習では、その当時の人びとの生活の様子に触れたり、道具に込められた知恵や工夫を発見したりすることができます。また、現在の自分たちの暮らしと比較することで、違いや苦勞、その当時の人びとの努力や工夫などを考えることができます。

自分たちの学習してきたことを年表にまとめることで、時間の経緯に沿って移り変わりの様子を整理し、今昔の違いや変化をとらえることもできます。

指導にあたっては、古くから残る暮らしにかかわる道具を実際に触ったり使ったりすることで、昔の道具に対する関心が高まるようにするとともに、道具の形などには、工夫や知恵が隠れていることに気付くことができるようにします。

また、体験的な活動の際には、その当時の人びとの苦勞や不便さばかりに意識が向いてしまわないように、現在の道具と比べて同じような役割を果たす知恵や工夫を考え、先人の知恵や工夫が現在の暮らしを支えていることに気付くことができるようにします。

中学生と交流会をしよう(ふじ組)

2月15日(木)の5・6校時、ふじ組が足立中学校で中学生と交流会を行いました。これは、自立活動の一環で、中学校を見学し、中学校の支援学級と交流する活動を通して、中学校ではどのようなことをしているのかという見通しや進路について意識をもつことができるようにすることが目的です。短い時間でしたが、様々な体験をすることができ、中学校への関心を高めることができました。